

日本原子力学会「バックエンド部会」主催
第28回「バックエンド」夏期セミナー
パネルディスカッション ―環境修復に対するバックエンド部会の役割―

福島におけるコミュニケーション活動

2012年8月23日

東京工業大学

グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院

特任准教授 大場 恭子



Fukushima
がんばろう
ふくしま!

皆様のご参加にお応えします。

第4回 安全・安心 フォーラム

～除染の推進に向けて～

特に小さなお子様をお持ちの貴御様は毎日の空間線量はもちろん、
お子様が遊ぶ公園のこと、毎日の食べ物のことなど心配はつきないと思います。
安全・安心フォーラムは、皆様が抱えている不安や解らない事に対してお応えし、
理解を深めていただくためのフォーラムです。

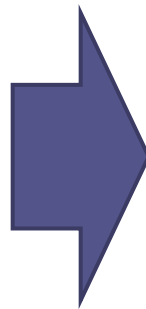
日程
2012年
2月19日(日)
13:00～17:00 (開場12:30)

会場
いわき明星大学
入場無料 どなたでも参加できます

第1部	第2部
放射線モニタリングと健康影響 坂本 実志	対話フォーラム (健康影響) 占部 逸正
環境修復に向けて～放射能除染の必要性和課題 藤田 幸子	対話フォーラム (除染推進) 大場 幸子
いわき市の県民力災害対策～除染などの取組み～ 佐竹 望	測定器校正 体験コーナー 放射線測定器校正委員会

申込方法:裏面の参加申込書を郵送、FAX又はEメールにてお送りください。
(申し込みをされた後も入場できますが、事前に申し込みされた方を優先させていただきます。)
●PCサイトの応募フォームからも申込みいただけます。 [福島県除染対策課](#) [検索](#)

主催:福島県・日本原子力学会 共催:いわき市、財団法人放射線影響協会 協賛:4月4日 福島県立健康福祉センター 電話:024-521-8317



皆様と不安や悩みを共有し、
様々な疑問に答えたいです。

第2回 除染の推進に向けた 地域対話フォーラム

お子様のこと、ご家族のこと、仲間のこと、そしてこの福島のこと。
大切なものが私たちにたくさんあります。
本フォーラムでは、皆様の不安や心配を少しでもなくするために、
さまざまな疑問にお応えしていきます。

2012
8/4(土)
13:00～16:30
(開場12:30)

会場
会津大学
【大原キャンパス】
生活科学研究一階大ホール

入場無料
どなたでも
参加できます

第1部	第2部
放射線モニタリングと健康影響について 坂本 実志	健康影響全国集会 除染推進全国集会
環境修復に向けて～放射能除染について～ 藤田 幸子	環境影響全国集会 除染推進全国集会

申込方法:裏面の参加申込書を郵送、FAXまたはEメールにてお送りください。
(申し込みをされた後も入場できますが、事前に申し込みされた方を優先させていただきます。)
●PCサイトの応募フォームからも申込みいただけます。 [福島県除染対策課](#) [検索](#) <http://jvforum.jp>

主催/福島県・日本原子力学会 共催/郡山市、郡山女子大学 協賛/4月4日 福島県立健康福祉センター 電話:024-521-8317

	日程	会場
第1回	平成23年11月27日(日)	パルセイびざか(福島市)
第2回	平成24年1月29日(日)	郡山女子大学(郡山市)
第3回	平成24年2月12日(日)	ロイヤルホテル丸屋(南相馬市)
第4回	平成24年2月19日(日)	いわき明星大学(いわき市)

良好な関係を築くために前提となるスキル

- 聴くスキル：相手を理解する
 - ・ 相手に対して興味がある
- 話すスキル：自己を伝える
 - ・ 明確に話ができる
 - ・ 愛嬌がある
 - ・ 親しみやすい
 - ・ 的確なたとえ話を用いることができる
- 解釈するスキル：自己と他者の立場から、問題や状況を適切に把握できるスキル
 - ・ 空気が読める
 - ・ 協調性がある
 - ・ 頭の回転が速い

聴くスキル：相手を理解する

- 事故以前
 - 原子力発電はどのように思われているか
- 事故後（さらに考えなければならないこと）
 - どのような状況に置かれているのか
 - 事故に関する情報はどのように届いているか
（どのように受け止められているか）

表I-2 怖いものの順序
—アンケート調査の結果—

順序	米国婦人有権者 同盟 ^{a)}	米国専門職・ ビジネスマン ^{a)}	大学生		
			米国 ^{a)}	日本(男) ^{b)}	日本(女) ^{c)}
1	原子力発電	ピストル	原発	ピストル	原発
2	自動車	オートバイ	ピストル	原発	ピストル
3	ピストル	自動車	喫煙	喫煙	X線
4	喫煙	喫煙	自動車	自動車	食品着色料
5	オートバイ	アルコール飲料	オートバイ	警察活動	狩猟
6	アルコール飲料	消防	アルコール	食品着色料	自動車
7	航空	原子力発電	警察活動	X線	警察活動

a) 米国のものは表I-3の原著による。

b) 大阪大学医学部(大部分男性)。

c) K看護専門学校(大部分女性。中島裕夫氏による)。



より

どのような状況に置かれているか？

- 避難した／していない
- 避難しているか／していないか
 - 帰宅できる／できない
- 子どもがいる／いない
- 家族が離散している／していない
- 保持している情報の正確性
- 仕事について
 - 現在、職がある／ない
 - 事故影響の度合い

・・・等、状況は**多種多様**である。

どのように受け止めましたか？



ただちに影響は
ありません

受け止め方の違い

- 「ただちに影響はない」（の晩発影響について）



- いまはだいじょうぶ。でも、その後は・・・。



- 累積量が問題なので、一時的に摂取したからといって問題ではない。
 - 確定的な影響があるわけではなく、あくまで確率的での影響の範囲である。
- 今後の被ばく量や累積被ばく量の調査結果を見て、より適切なコメントが必要。

どのように受け止めましたか？



低線量被ばくの影響は
わかっていません

受け止め方の違い

- 「低線量被ばくの影響はわかっていない」



- 低線量被ばくと健康の関係は研究されていない。
- 非常に大きな影響があるかもしれない。
- 今はわかっていないが、いつか恐ろしいことが起きるかもしれない。



- 低線量被ばくと健康の間に、現在までの調査では、明瞭な相関がみられない。
- 他の要因による誤差に隠れていて、疫学的な調査としては、その影響を検出できない。

事故および事故影響は どのように受け止められているか

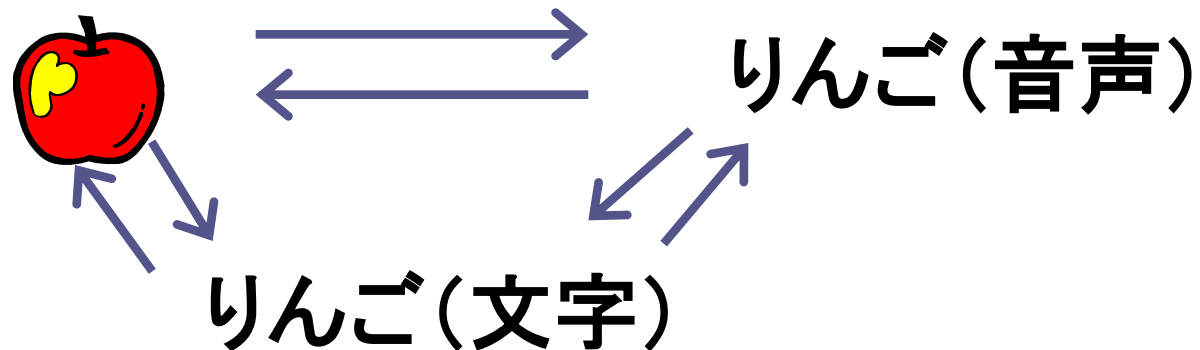
- 連想

日常的な人間の精神活動に見られる（主に）無意識的な働き。

- 刺激等価性

刺激Aと刺激Bを自動的に等価とみなす。

= 「AならばB」と学習すると自動的に「BならばA」と結論する。



誤解が生じている例

- 事故によってはじめて被ばくした。
- 事故によってはじめて内部被ばくしている。
- 1 mSv／年以上は危険である。
- 子どもは少しの放射線でも危険である。
- 放射線を浴びるとガンになる。
- ガンは被ばくによってのみ起きる。
- 内部被ばくは外部被ばくより危険である。
- 食品の規制値は安全基準である。
- チェルノブイリで起きたことが、福島（日本）でも起きる。
- 現在の空間線量がいつまでも続く（あるいは、30年でやっと半分になる）

例：仮置き場への理解促進に向けて

- 放射性物質の置き場＝危険
 - なぜ作るのか
 - どういうものなのか



<http://www.jti.co.jp/sstyle/manners/bunen/kiso/space/kokoroe/index.html>

- 「仮」とは名ばかり？
 - 中間貯蔵施設→最終処分施設の速やかな決定

良好なコミュニケーションのために



相手

判断は個々！

背景を
理解する／伝える

状況
気持ち

科学的
データ

自分

(参考)がんのリスクの大きさー放射線と生活習慣ー

相対リスク	全部位	特定部位
10~		C型肝炎感染者(肝臓:36) ピロリ菌感染既往者(胃:10)
2.50~9.99		大量飲酒(450g以上) 喫煙者
1.50~2.49	1000-2000 mSv 喫煙者(1.6) 大量飲酒(450g以上)	被ばく(甲状腺:2.1)** (男性>:1.7) (大腸:1.5) 経後乳がん:2.3)
1.30~1.49	500-1000 mSv の被ばく(1.4) 大量飲酒(300-450g)	甲状腺がん
1.10~1.29	20% 運動不足(1.18) 高塩分食	運動をする 野菜をしっかり食べる
1.01~1.09	10% 野菜	近くでたばこを吸わない

* : 広島・長崎の原爆被ばく者

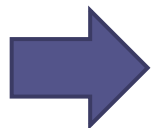
** : チェルノブイリ原発事故の被ばく者(1986年)15年後に行った甲状腺がんスクリーニングからのデータ

*** : 飲酒についてはエタノール換算量を示す

【出典】国立がん研究センターホームページより抜粋

コミュニケーションには . . .

- 残念ながらこれをすればよい！という魔法はない。
- ただし、これをしてはダメはある。まず重要なのは「聞く」こと。理解すること。
- 専門家は、「データ」に基づいて話す。批判を恐れてはいけない（ただし適切なタイミングや表現等には気を付ける）。→信頼が構築できると、データの読み取り方等、幅を広げていくことも可能。
- コミュニケーションが成功すると、「一緒」にできる。相手を巻き込める！



福島現状を変えることができる！